

ひょうご国際交流団体連絡協議会 草の根国際功労賞 受賞者決定！(6月4日の総会で表彰式を行います)

ひょうご国際交流団体連絡協議会(会長：HIA 齋藤富雄)は、県内の市町国際交流協会(36団体)を会員団体として平成25年6月に設立され、団体間における情報共有や相互連携を推進し、もって本県の国際交流や多文化共生社会づくりに寄与するための各種事業を行っています。

協議会では、平成26年3月に開催した理事会において、国際交流や多文化共生に関する草の根活動を行っている団体や個人で、特に、会員団体から推薦のあった多年の功績が顕著と認められる4名の個人と1つの団体に対して「草の根国際功労賞」を授与することを決定しました。

受賞者	推薦団体	主な功績
松岡 正美	西脇市国際親善交流協会	日本語のボランティア活動支援
尾崎 福美	宍粟市国際交流協会	日本語ボランティアの活動支援
伊藤 賢一郎	姫路市文化国際交流財団	地域における国際交流活動の推進
高橋 麻岐子	兵庫県国際交流協会	ボランティアホストファミリー
赤穂市児童合唱団	赤穂市国際交流協会	地域における国際交流活動の推進

来る6月4日に開催する「ひょうご国際交流団体連絡協議会総会」において表彰式を行います。

【ひょうご国際交流団体連絡協議会総会】

日時：平成26年6月4日(水)
13時30分～14時30分
場所：国際健康開発センター2F

HIAでは、表彰に先立ち赤穂市児童合唱団代表の西原 賢氏にインタビューを行いました。

赤穂市児童合唱団のことを教えてください。

合唱団には小中高校生の団員が32名います。また、音楽関係とマネジメントのスタッフが7人おり全員ボランティアです。保護者がバザー等で資金集めを行い演奏旅行も自己負担です。

ロッキングハム市(西豪州)との交流はいかがですか？

ロッキングハム市と赤穂市は兵庫県の紹介で姉妹都市となりました。市民交流団が同市を訪問した際に赤穂市長が赤穂児童合唱団を受け入れてほしいと述べたのでその実現のために頑張りました。その後、訪問が実現し、児童合唱団がオーストラリア国旗を振りながら歌を歌うと観客総立ちで大喜びでした。今では、児童合唱団は赤穂よりロッキングハムで人気があるくらいで市長を始め多くのファンがいます。このような経験を通じて、子どもたちは自分が人を喜ばせる力があるという自信を持ちました。子どもの成長にも大きく貢献したと思っていますし、そのような姿を見ていると国際交流の原点を感じます。

後継者もいるので今後とも活動を続けていきます。

